

留学前の学習について

CNE1の生徒様で、初授業を受けた際に一番多いコメント！！それは・・・

日本にいる時に、もっと勉強してから来れば良かった.....(泣)

・なぜ、留学前の学習が大切なのでしょうか？

- ①CNE1のマンツーマンレッスンは、事前学習で習得した知識を表現する場所だからです。
先生から、文法や発音の修正、実用的なフレーズを教わることでスピーキング力が向上します。
- ②また、基本的なフレーズを習得して、少しでも意思表示ができるだけで、レッスンがスムーズに進みます。(もう少しゆっくり話してほしい、スペルを教えてほしいなど)

・何を事前に勉強すべきでしょうか？

- ①基礎的な中学校レベルの英文法
- ②基礎的な語彙「2000語」
- ③発音記号をだいたい読めるようにする
- ④音読をする
- ⑤授業中によく使用する基本的なフレーズ

・CNE1おすすめの教材・勉強法

1、文法

●英文法の神【入門編】(PC・スマートフォンで視聴可能)

ベリタスアカデミー創設者である坂木先生が、大手予備校で15年間英文法を教えた結果、たどり着いた理想の英文法学習を形にしたもの。問題集3冊分の演習問題が全問動画 解説付きで用意されています。講義時間は、約70分×33回の約2,310分になります。入学日12週間前からCNE1を卒業する日まで受講が可能。



- * 予備校の生徒用に3冊分、単元毎に集中的に問題を解かせればマスターできるようになったという経験法則に基づいて作られています。

■坂木先生より勉強法のアドバイス

短い英文をまずは暗記して、その文を使って、単語の入れ替えをし、英会話の中でそれらを使えるようにしましょう。そして、例文等を暗唱する際、5回は見ながら、6回目以降は見ずに音読(ただし詰まってしまったら見ても良い)し、合計10回ほど読むと大体スムーズに言えるようになるはずなので、是非やってみてください。

●くもんの中学英文法 中学1～3年 基礎から受験まで【当校認定参考書】

英語を『話す』ための土台になる基礎固めには、まず、中学3年間で学ぶ基礎英文法の習得が必須です。

こちら、実績のある「くもん」の本なので、段階的に、表現方法が確実に増えていくのを実感しながら学習できます。見やすく、これから文法を始める人にもとつきやすく、また、復習するにも、字が多くなく最適です。

※時間があまりとれない方にオススメです！！

①時制 ②動名詞 ③不定詞 ④分詞 ⑤関係詞 ⑥接続詞 ⑦関節疑問文
これらは文を組み立てる上で、必須単元になります。



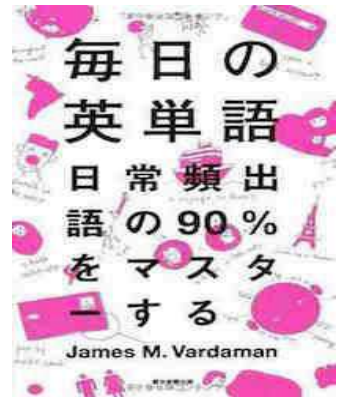
2、ボキャブラリー

●毎日の英単語【当校認定参考書】

ネイティブが、日常会話に使う厳選された2000語を単語単独でなく、前後の表現まで含めた実践的な751フレーズが載っています。

また、場面・状況別に構成されており、自分の好きなトピックから覚えられます。著者いわく、このテキストの単語を覚えれば、日常会話の約90%を習得できるということです！

※単語の習得は、日常会話をするにあたって、文法と同じ位、大切です。留学前に少しずつで良いので覚えてください。会話中で使うのが目標ですが、「聞いたことがある！」というレベルになるだけでも、先生との会話が途切れなくなります。



3、発音

●英語の発音がよくなる本【当校認定参考書】

英語でのコミュニケーションで、正しい発音をしなければ、相手にはわかってもらえません。また、相手の言っている発音が聞き取れないとコミュニケーションをすることは難しいです。聞き取れない音は発音できませんし、発音できない音は聞き取ることが難しいです。こちらのテキストでは、発音記号を見ての発音の仕方、似た間違えやすい発音の違いに関して詳しく勉強できます。

※発音に集中しすぎて、会話ができないのは本末転倒ですが、リスニング力をあげるために発音は避けて通れません。DVDを見ながら学習し、意識すれば発音できるレベルまでやりましょう。



★CNE1では、上記の3つの参考書とCNE1オリジナルテキストを使用したハイブリッドクラスがあります！



文法



ボキャブラリー



発音

英語で詳しく発音や文法を教わるのはビギナーにとって厳しいです。日本語のテキストで予習をしっかりとやります。実際の授業でOUTPUTし、先生にそれが正しいかチェックして、正しく訂正します。非常に効率の良いクラスで人気のあるクラスです！初中級者にはオススメです。

4、音読をしましょう！！

音読練習は、とても英語学習に役に立ちます。当校に来てからも、予習と復習で、英語の音読を勧められるので、日本での学習でも声を出して練習をしてください。ただ、例文を声に出すだけでも良いです。

リスニングも通勤や通学時に毎日聞くようにしてください。

理解した文章をリスニングすると良いです。

こちらでは、「英語を話す」練習を徹底的にします。その準備を日本でお願い致します。



5、授業中によく使用するフレーズ

下記にあるフレーズや文法用語は授業でよく使うものです。

日本語の授業を思い出してください。授業中に質問したり、先生に伝えたい事などありましたよね？

それを英語で事前に言えるようになるだけで、授業がかなりスムーズに流れます。

まずは、ここから、自分の言いたい事が伝えられる練習をしましょう！

- **I beg your pardon? /Could you say that again,please?**
「もう一度言っていただけますか？」
- **Im not sure I know what you mean.**
「どういう意味がよくわかりません」
- **Im not sure I follow you.**
「(授業に)ついていける自信がありません。」
- **Sorry,I didn't hear what you said.**
「ごめんなさい、聞き取れませんでした」
- **Sorry,I didn't get your point.**
「すいません。理解ができませんでした」
- **What do you mean by... ?**
「…はどういう意味ですか？」
- **Do you mean...?**
「つまり…ということですか？」
- **Could you give me an example?**
「例を言ってもらえますか？」
- **I wonder if you could say that in a ddifferent way.**
「これと違う言い回し/使い方はできますか？」
- **What`s the difference between A and B ?**
「AとBの違いは何ですか？」
- **Could you spell that for me,Please?**
「スペルを教えてくださいませんか？」
- **Could I check the word im my dictionary?**
「意味を辞書で調べてもいいですか？」
- **Could you speak more slowly please.**
「もっとゆっくり話して頂けますか？」
- **Could you repeat that for me?**
「もう一度言って頂けますか？」
- **Am I right? or Am I wrong?**
「私は正しいですか？それとも間違ってますか？」
- **I couldn't understand what you said.**
「あなたの言った事がわかりません。」
- **Can I ask you a question?**
「質問してもよろしいですか？」

文法に関する単語

- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| 1. noun ⇔ 名詞 | 9, object ⇔ 目的語 |
| 2. subject ⇔ 主語 | 10. auxiliary verb ⇔ 助動詞 |
| 3. verb ⇔ 動詞 | 11. article ⇔ 冠詞 |
| 4. adverb ⇔ 副詞 | 12. comperative degree ⇔ 比較級 |
| 5 adjective ⇔ 形容詞 | 13. negative sentence ⇔ 否定文 |
| 6 pronoun ⇔ 代名詞 | 14 interrogateive sentence ⇔ 疑問文 |
| 7 preposition ⇔ 前置詞 | |
| 8 conjunction ⇔ 接続詞 | |

5、その他お勧め教材(余力がある方へ)

●I PHONE アプリケーション

ベリタスアカデミーの『動画英文法2700』

<https://itunes.apple.com/jp/app/dong-hua-ying-wen-fa2700/id660617252?mt=8>

で演習問題を繰り返しやってください。音読機能が装備されていますので、何度も例文を音読してください。

また、語彙は、ベリタスアカデミーの『GENIUS動画英単語2200』

<https://itunes.apple.com/jp/app/genius-dong-huade-yieru-ying/id563092250?mt=8>

をお薦めしています。センター試験レベル 900単語をまずは、習得してください。

音読機能が装備されていますので、何度も例文を音読してください。

文法書と電子辞書は、レッスンや自習で必ず必要になるので、日本から持ってきてみましょう！！

6、最後に

CNE1は、フィリピンの語学学校でも、お陰様でリピーター率が高いです。

その一番の要因は、フィリピン人先生にあります。

彼らは、生徒様の英語力を伸ばすために、時に優しく、時に厳しく、教えます。

生徒様も勉強に対する熱意と先生に礼儀をもって接して頂ければ、先生と良好な関係を築け、必ず、結果はついてきます。

ただ、急に英語力が伸びるということはありません。

そして、予習、復習を怠ると殆ど伸びない可能生もあります。

そうならないためにも、**INPUT(予習・自習)と**

OUTPUT(授業やクラス外でのスピーキング)をバランスよくおこなってください。

お待ちしております！！

